Denka デンカアステック株式会社

2026 年 10 月 1 日
デンカ株式会社
デンカアステック株式会社

# デンカアステックが浸水防止機能付き土台水切り『ダムアーマー』をリニューアル発売
## ～アルミニウム製へ仕様変更し、JIS A 4716 に基づく浸水防止性能「Ws-5 相当」を実現～

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、社長：石田郁雄）の連結子会社であるデンカアステック株式会社（代表取締役社長：後藤一之、本社：東京都港区）は、2025 年 12 月 1 日に発売した日本初*の床下浸水防止機能付き土台水切り「ダムアーマー」について、本体材質・止水性能をアップさせたリニューアル版を、2026 年 10 月 1 日より発売します。

近年、気候変動の影響により豪雨や線状降水帯の発生が増加し、住宅への浸水被害が全国的な社会課題となっています。特に床下浸水は、住宅の構造部材の劣化につながり、復旧に大きな時間的・経済的負担を伴います。「ダムアーマー」は、こうした課題の解決に向けて開発された減災製品です。

「ダムアーマー」は、日常的には住宅の土台水切りとしての役目を果たしながら、豪雨による内水氾濫時には、内部の吸水膨張材が水を吸収して自動的に膨張し、通気経路を遮断することで床下浸水を防ぐ特殊資材です。

今回のリニューアルでは、本体材質をこれまでのガルバリウム鋼板製からアルミニウム製に変更するとともに、浸水防止用設備の性能試験規格「JIS A 4716」の漏水量等級において「Ws-5 相当」の浸水防止性能を確認しました。さらに、通気経路の形状も見直すことで、一般財団法人ベターリビング社が定める優良住宅部品（BL 部品）の通気性能基準も満たしています。

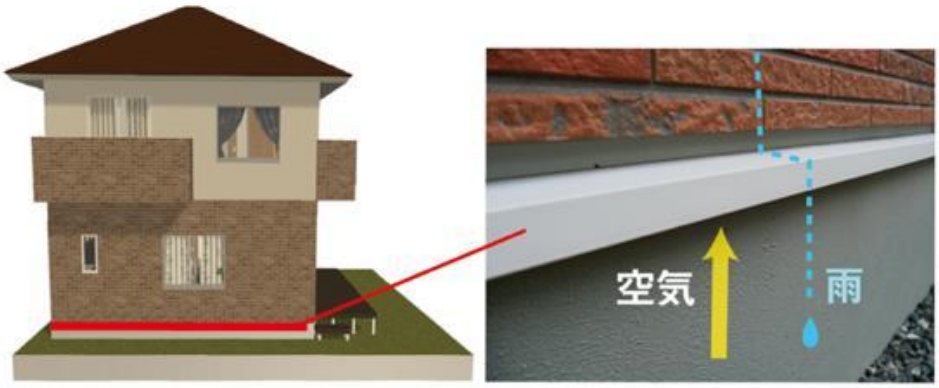
デンカアステックは、本製品の普及を通じて、気候変動に伴い高まる住宅の浸水リスクの低減と、安全・安心な住環境の実現に貢献してまいります。

※自社調べ（2025 年 12 月 1 日時点：床下浸水対策に対応した浸水防止機能付き土台水切りとして）

浸水防止機能付き土台水切り「ダムアーマー」（アルミニウム製・新仕様）

## ■ 土台水切りとは？

外壁と基礎の間に設けられる水切りで、雨水が基礎内に侵入するのを防ぎます。通気工法ではこの部分から空気を取り込み、壁内の湿気を逃がす通気層の起点にもなります。住宅の外壁と基礎の境界全周に取付けられる建材で、多くの木造住宅に採用されています。ただし、日常では空気を取り込み、湿気を逃す通気口である反面、大雨により水が溜まってくると床下に水が入ってくる経路になってしまうため、床下浸水被害の大きな原因となります。




## ■ 今回のリニューアルのポイント

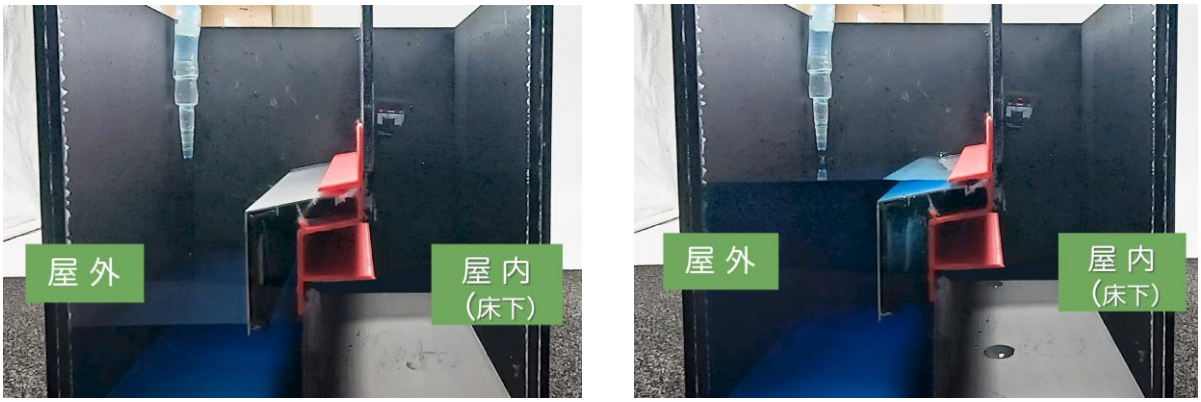
・浸水防止用設備の性能試験規格「JIS A 4716（浸水防止用設備建具型構成部材）」の漏水量等級で「Ws-5 相当」の浸水防止性能を確認
・本体材質を、ガルバリウム鋼板製からアルミニウム製に変更し、耐候性・耐久性を向上
・内部の吸水膨張材が浸水時に水を吸収して自動膨張し、通気経路を遮断する止水機構は従来品の設計思想を継承
・通気経路の形状を見直し、通気量が一般財団法人ベターリビング社の優良住宅部品（BL 部品）認定基準をクリアする性能に
・着脱が容易な特許構造は従来通りで、内部の止水部材（吸水膨張材）は交換可能

## ■ JIS A 4716「Ws-5 相当」の浸水防止性能について

「JIS A 4716（浸水防止用設備建具型構成部材）」は 2019 年に制定された、止水ドアや止水板・シャッターなど浸水防止用設備の止水性能を評価するための日本産業規格です。設定浸水高さまで水を張った際の漏水量に応じて、Ws-1 から Ws-6 までの 6 段階に等級が区分され、数字が大きいほど漏水量が少なく、止水性能が高いことを示します。

同規格は主にドア型・シャッター型の浸水防止用設備を対象としたものであり、土台水切りであるダムアーマーは規格の直接の対象ではありませんが、同等の試験方法により漏水量を計測した結果、上位から 2 番目の等級である「Ws-5」に相当する浸水防止性能（漏水量：1 時間・1 平方メートルあたり、1 リットルを超え 4 リットル以下）を確認しています。

| 等　　級 | 漏水量［ℓ／(h・㎡)］ |
|---|---|
| Ws-1 | 50ℓを超え 200ℓ以下 |
| Ws-2 | 20ℓを超え 50ℓ以下 |
| Ws-3 | 10ℓを超え 20ℓ以下 |
| Ws-4 | 4ℓを超え 10ℓ以下 |
| **Ws-5（ダムアーマー）** | **1ℓを超え 4ℓ以下** |
| Ws-6 | 1ℓ以下 |



吸水膨張材の浸水試験の様子（左：浸水前／右：浸水時に膨張し通気経路を遮断）

## ■ 従来の浸水対策製品との相違点・独自性

**〇従来の浸水対策製品**

・内水氾濫時、水を堰き止めるための土嚢や止水板などを家屋の外側から設置する必要がある。
・止水板の設置後に住人が家屋内に入れなくなるリスクがある。
・浸水量の一番多い土台水切りから家屋内への浸水対策ができる製品がなかった。
・有事の際にパニックで存在を忘れたり、使い方が分からず結局使えないケースが多い。

**〇ダムアーマー**

・一度設置すれば、平常時でも非常時でも、特別なことをしなくても止水性能を発揮できる。
・浸水対策機能付き土台水切りを日本で初めて*実現。
・内部の特殊素材が内水氾濫時に水を吸収して自動で膨張し、床下への浸水を防ぐ。
・一度水に浸かっても、内部の特殊素材（止水部材）を交換すれば再び浸水に備えることができる。
・火災保険の適用対象外となるケースが多い、GL から 50cm 未満の床下浸水を対策することができる減災製品。

## ■ 開発の背景

・近年、局地的大雨の発生回数は 30 年前の約 1.4 倍に増加し、住宅水害被害も年間 1.5 万戸以上発生している。
・GL から 50cm 未満の床下浸水は火災保険の補償対象外となるケースが多く、適用された場合でも補修費用を全額補填できないことが多いなど、一度浸水した床下の復旧には時間・費用・精神的負担が大きくかかるにもかかわらず、これまで具体的な対策方法がなかった。
・住宅の浸水想定箇所（玄関ドア、勝手口、サッシ、土台水切り、排水口）のうち、浸水量が最も多く発災初期に浸水が発生する土台水切り部の対策製品開発が急務と認識し、開発に至った。

## ■ 「ダムアーマー」2025 年度グッドデザイン賞受賞について

「ダムアーマー」は 2025 年度グッドデザイン賞を受賞しています。今回リニューアルする新仕様においても、受賞の評価点である「浸水してくる雨水に反応して経路を遮断するシンプルな発想」と「メンテナンス性能」の基本設計思想を継承しています。

GOOD DESIGN AWARD
2025年度受賞

*（審査員の評価コメント）*

「近年の気候変動によって頻発する床下浸水に着目し、その解決に向け取り組む姿勢を評価したい。床下換気経路に設置された吸水膨張材が、浸水してくる雨水に反応し、経路を遮断するシンプルな発想だが、実際には素材開発から取り組む必要があり、製品化は容易でないことが伺える。復旧メンテナンスについても考慮されている。洪水対策については自治体などによるインフラストラクチャーの再整備が必要だが、まずは個人で対応できる本製品は喫緊の対策として有効だと感じた」

## ■ デンカアステック株式会社について

　デンカアステック株式会社は、東洋化学株式会社の時代から受け継がれてきた約 70 年の歴史と技術とノウハウを受け継ぎ、雨樋の開発・製造に携わってきた、雨どいの老舗企業です。国内で唯一、樹脂製・金属製の両方の雨樋を手がけるメーカーとして、多様な建築ニーズに応え続けています。こうした長年の実績に裏打ちされた「雨水の集水・排水」に関するノウハウを活かし、現在は『捨てる雨水』から『活かす雨水』へと視点を転換。災害時や水不足の時代において、雨水を「貯めて使う」「制御して守る」といった『水循環の新たな専門企業』として、雨水を生活用水として活用する「PURE EDEN（ピュアエデン）」や、豪雨時の床下浸水を防ぐ「ダムアーマー」など、雨水をインフラ資源へと昇華させる革新に挑戦しています。

## ■ デンカアステック株式会社 会社概要

社　名：デンカアステック株式会社
設 立 年：2021 年 4 月 1 日（デンカ株式会社より分社化）
資 本 金：5,000 万円（デンカ株式会社 100％子会社）
代 表 者：代表取締役社長　後藤一之
本　社：東京都港区芝公園 2-4-1　芝パークビル B 館 12 階
電話番号：03-5473-7770（代表）

**【報道関係者からのお問い合わせ先】**
デンカ株式会社　コーポレートコミュニケーション部　電話：03-5290-5511

**【お客様からのお問い合わせ先】**
デンカアステック株式会社　新事業開発部　電話：03-5473-7770